令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	19_山梨県
市区町村名	19211笛吹市
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）		目標等の公表先
19211笛吹市	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えていることや、学校の授業だけでは習得が不十分な児童生徒に対して、学校の授業以外における学習支援指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	・NPO法人に委託し教員OBによる学習支援を主に放課後子ども教室を引き続き実施するとともに、学校を通して開催日や保護者・生徒に周知を図っていく。 ・土曜学びの教室の小学生教室及び中学生教室を前年度に引き続き実施し、児童生徒の学習支援に努める。	・土曜学びの教室の開催を学校へ周知するほか、教室に参加できるようにNPO法人HPサイトを利用をした申込案内を行ったが、生徒の保護者に認識されておらず、活動状況や放課後子ども教室に参加するための周知を増やしていく必要がある。 ・地域住民や学生ボランティアの協力を得ながら学習支援を行った。	・実施計画を作成し、教室開催チラシの作成や実施回数の少ない学校へ説明し理解を得ながら、実施回数が増える。 ・学校以外で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	・実績報告書 ・参加者（保護者含め）のアンケート調査	15048	人	15000	16111	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	本年度の放課後子ども教室実施状況は、委託先NPO法人が学校へチラシ配布や掲示板に放課後子ども教室開催ポスターを掲示したこで、周知活動を行った。そろばん、将棋、ボスター作成等の各種体験教室を昨年の実施回数より多く開催することが出来た。周知活動や体験教室の実施回数が増えたことで、目標値を超える参加人数が放課後子ども教室を通して学びや遊びをとおして健全育成に取組むことが出来た。	https://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/ 笛吹市ホームページ 市民向けトップ-子育て・教育-生涯学習-放課後子ども教室事業・学校等支援事業

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。